

行政改革の取組に係る市政世論調査

1 市政世論調査の概要

- (1) 調査地域 宇都宮市全域
- (2) 調査対象 満20歳以上80歳未満の市民
- (3) 抽出方法 住民基本台帳からの単純無作為抽出(100分の1抽出。3,832人)
- (4) 調査方法 郵送法(調査票の送付,回答いずれも)
- (5) 調査時期 平成21年7月6日～24日

2 設問

行政改革の取組に係る設問は、以下のとおり

◆ 行政改革の取組についてお伺いします。

問5 宇都宮市のここ数年間の行政改革の取組で、評価できるものは何ですか。

また、今後、宇都宮市が行政改革を進める上で、力を入れていくべきだと考えるものは何ですか。

【評価できる項目】 ⇒ ①列の該当する番号に○をつけてください。(○は3つまで)

【力を入れていくべき項目】 ⇒ ②列の該当する番号に○をつけてください。(○は3つまで)

①	②	項 目 ([] の中はこれまで取り組んできた事例)
1	1	A 市民の声を市政に反映する[まちづくり懇談会の開催,市長へのメールなど]
2	2	B 身近な問題は地域(自治会等)が自主的・自発的に解決できるように支援し,解決が困難な場合には行政が行うなど,市民と行政の役割を明確にする [地域防犯ネットワークの構築など]
3	3	C 仕事の内容を積極的に公開する [市長の交際費の公開,印刷物への事業経費の表示など]
4	4	D 窓口のサービスを向上する [「ワンストップ窓口(※)」の設置,軽自動車税のコンビニエンスストアでの納付受付など]
5	5	E 仕事の進め方を効率的にする [パソコン等の情報技術を活用した業務の効率化など]
6	6	F 施設を利用しやすくする [市施設のインターネットによる空き状況の確認と仮予約など]
7	7	G 民間に仕事を委託する[給食調理業務やごみ収集業務の民間委託など]
8	8	H 市の外郭団体を合理化する[株式会社ろまんちっく村の解散など]
9	9	I 職員数を減らす[平成15～21年度の間で459人削減]
10	10	J 職員の給料を見直す[特殊勤務手当の廃止など]
11	11	K 職員の能力を高める[職員研修の充実など]
12	12	L その他 ()

※ワンストップ窓口・・・「出生」「転入」の届出をされた方が、国民健康保険証の交付の受付や転校手続きなど、届出に関連して必要となる申請を1か所で併せて受付できる窓口

問6 これまでの宇都宮市の行政改革の取組について、どのように思いますか。

(○は1つ)

- 1 よくやっている
- 2 まあまあよくやっている
- 3 普通
- 4 やや努力が足りない
- 5 努力が足りない
- 6 分からない

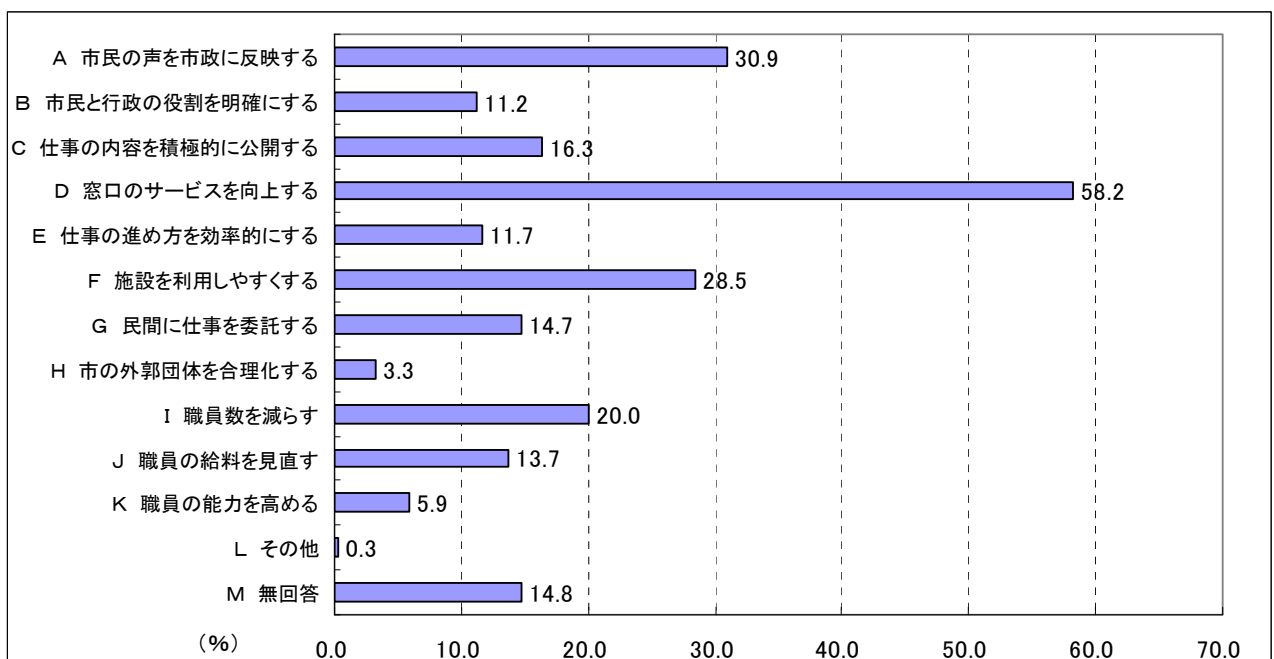
※ 21年度の市政世論調査では、「行政改革」の取組のほか、「宇都宮市への愛着度」、「住んでみたい市内の地域」、「インターネットの利用状況」、「広報媒体の活用状況」、「男女共同参画」、「住宅用火災警報器」、「自転車の利用状況」、「回答者属性（性別、年齢、職業、家族構成、居住歴）」の設問を設定

3 その他

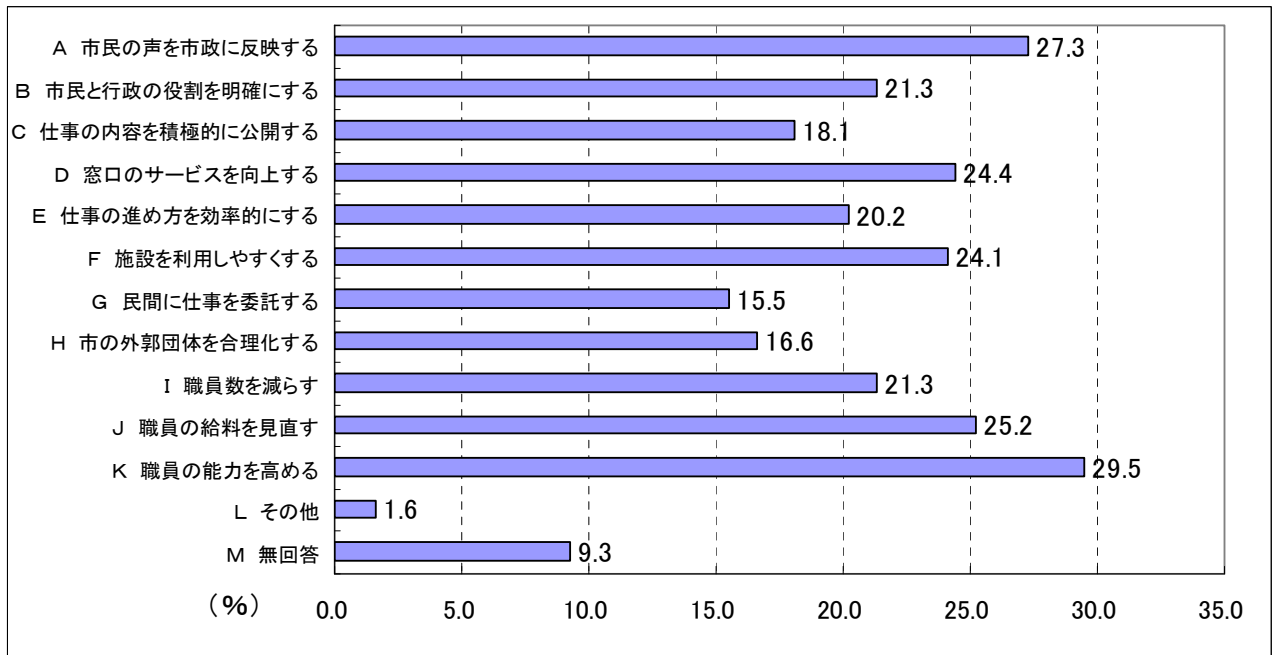
第3次行政改革の取組前後の市民意識の変化の把握を容易にするため、取組の開始前である平成14年7月に今回と同じ設問により世論調査を実施している。

当時の回答の集計結果は、以下のとおり。

【評価できる項目（平成14年7月）】



【力を入れていくべき項目（平成14年7月）】



【これまでの宇都宮市の行政改革の取組への評価（平成14年7月）】

